

科目番号	科目名	担当者名	教養・専門 資格・教職	単位数	選択・必修	開講年次 ・時期
SB4	地域経済論 Theory of Local Economy	金森 和彦	専門	2	選択	2年秋

科目の概要

愛知県は全国第4位の人口、良好な雇用環境、全国第1位の工業生産額、第3位の商業販売額、そして第6位の農業産出高など、国内ではかなり恵まれた地域です。しかしグローバル化の進展などの環境の変化や自動車産業への依存度の高さ、県内地域の間での経済的な格差、過疎、高齢化現象など、不安のタネは尽きません。本講義では、こうしたわれわれの生活に密着した地域経済をもたらした原因、過程について学び、地域経済の将来にわたる安定的な発展の道筋について考えていきます。その際には、かつて地方自治体の公務員(研究員)として地域経済の分析を行った経験を活かし、実際に見聞きしたエピソードなどを交えつつ進めていきます。

学修内容	到達目標
地域経済の2大特徴を知る 地域経済に影響を与える要因について理解する 集積の論理および都市化の経済の論理について知る 地域経済における因果関係モデルについて考察する 内発的発展、地域経済振興政策のポイントを学ぶ	地域経済の特徴、影響要因を示すことができる 集積の論理、都市化の論理の概要を説明できる 地域経済における因果関係モデルを説明できる 統計から、特定の地域経済の概要を示すことができる 内発的発展論の考え方を地域政策に援用できる

学生に発揮させる社会人 基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す 力	主体性	常に当事者意識を持つ。また、配布プリント「講義レジュメ」のみに依存せず、自分自身のオリジナルの講義ノートを作成する。
	働きかけ力	できるだけ早めに担当教員、時には受講生仲間に訊ねるなど、不明の点を解消しておく。
	実行力	配布プリント「重点課題」の次回該当部分の設問に対して、「講義レジュメ」を参考にしながら、次回までに一度、回答を作成しておく。
考え抜く 力	課題発見力	講義中の解説を聞き、自らの「重点課題」の設問に対する事前の回答の不十分な点を見いだす。
	計画力	次回の講義に該当する「講義レジュメ」部分に事前に目を通す。
	創造力	できるかぎり自分自身の住んでいる地域、なじみのある地域を思い浮かべて、講義に臨む。
チーム で働く 力	発信力	一般的な社会的知識を問う質問を講義時間中に行うことがあるが、それに関して消極的な態度で臨まず、現状の知識量、内容を正直に、また明確に伝える。
	傾聴力	講義における重要ポイントを聞き逃さないように集中している。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	常に周りに配慮した行動を心がける。また、授業中、その授業に関係しないことはしない。
ストレスコントロール力	わからないことがあっても、それを理解することが真の学習と心得て、前向きに行動する。	

テキスト及び参考文献

テキスト: 使用せず、配布プリントにて対応します。

参考文献: 初歩的なものから順に、佐藤泰裕『都市・地域経済学への招待状』(有斐閣)、山田、徳岡『地域経済学入門』(有斐閣)、黒田・田淵・中村『都市と地域の経済学』(有斐閣)。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: 経済学、社会学、まちづくり関連の諸科目

本学部で取得できる資格との関連: 教職(高校第一種教員免許(公民)の選択科目)

学修上の助言	受講生とのルール
講義内容を簡潔にまとめた「講義レジュメ」、重要な設問を記した「重点課題」を配布します。それらをベースに、自分だけのノートを完成してください。	当たり前のことですが、他の受講生の学習の妨げになるような行為(途中退室、私語)は原則禁止です。また配布プリント、筆記具等を持たないで履修することは、出席していないに等しいと肝に銘じてください。そして予習・復習を忘れないこと。とりわけ、不幸にも出席が叶わなかった時に課題(小テスト)が課された場合には、できるだけ速やかにその内容を把握し、後日でも構わないので確実に提出すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)実技・口述試験	80	①	✓	・到達目標の ~ 、 に対応して、それぞれの基本概念、キーワード、そして関係性(原因、結果)を問う問題に対して、正しく理解しているか、自分自身の意見を論理的に示すことができるか、などによって評価する。 ・配布プリント、自筆ノートの持ち込みを許可するが、その分、設問のレベルも高いものを要求していると心得て、準備を怠らないこと。		
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤	✓			
	平常評価	小テスト		10	①		複数回、地域経済に関する基本的な統計指標を示し、そこから地域経済の分析、特徴を導き出しているか、が評価内容。レスポンス・シートへの回答時間を利用する。	
					②			
					③			
					④	✓		
					⑤			
		レポート				①		
						②		
						③		
						④		
						⑤		
		成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)				①		
						②		
						③		
						④		
						⑤		
学修行動	社会人基礎力(学修態度)		10	①	✓	(主体性)(課題発見力)(創造力) 当事者意識を常に持ち続けること、これは学習態度での評価というよりも、学習効果そのものに影響する。 (実行力)(計画力)(発信力) レポート課題やチェックシートによる作業は正答率に基づく評価をするものではないが、これをどれほど真剣に答えているか。 (傾聴力)(規律性) 不要な授業中の「ながらスマホ」周囲に迷惑を及ぼす行動(遅刻、不要な入室、私語など)は、当然、減点評価対象です。		
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
到達レベルBの基準に加えて、以下の内容について答えられるか。 ・逆都市化が起きる道筋、 ・地域活性化のポイント。 レベルSの基準については、これまでに示された内容全体について、自分自身の言葉で論理的に伝えられるか。	到達レベルCの基準に加えて、以下の内容について答えられるか。 ・産地型集積形成、存続の要因 ・都市型集積の意味、 ・都市化のデメリット、 ・地方財政の現状と問題点、

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	・講義の内容、評価方法等について解説する ・講義において対象とする「地域」概念について学ぶ	・学修に関する重要事項説明(シラバス等配布) ・講義	分析において意味のある「地域」概念について、示すことができる。	【予習】シラバスを読み、科目内容を理解する。 【復習】キーワードを意識して、今回の学習内容を500字以内でまとめてみる。	45 60	主体性 実行力 計画力
2週 /	・前回のおさらい ・地域経済の一般的な特徴について学ぶ	・『講義レジュメ』 『重点課題』 の配布 ・講義 ・レスポンス・カード(RC)の記入。	地域経済の一般的な特徴を、国家経済との比較の視点から説明できる。	【予習】前回内容についてまとめる。 【復習】『重点課題』を用い、今回の学習内容に該当する質問に回答する。	90 90	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力
3週 /	・前回のおさらい ・地域経済を理解するための基本的項目1(経済外的環境と人口指標)について学ぶ	・講義 ・RCへの記入	経済外的環境にはどのようなものがあるか、人口に関する諸指標の違いを示すことができる。	【予習】今回の内容について『講義レジュメ』で確認する。 【復習】『重点課題』を用い、今回の学習内容に該当する質問に回答する。	90 90	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力
4週 /	・前回のおさらい ・地域経済を理解するための基本的項目2(経済規模、産業構造)について学ぶ	・講義 ・RCへの記入	域際収支と産業の概念、ならびに産業連関の意味を解説できる。	【予習】今回の内容について『講義レジュメ』で確認する。 【復習】『重点課題』を用い、今回の学習内容に該当する質問に回答する。	90 90	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力
5週 /	・前回のおさらい ・地域経済学における経済モデル(需要主導型、供給主導、内生的成長)について学ぶ	・講義 ・RCへの記入	需要主導型、供給主導型、そして内生的成長の3つのモデルの違いが分かる。	【予習】今回の内容について『講義レジュメ』で確認する。 【復習】『重点課題』を用い、今回の学習内容に該当する質問に回答する。	90 90	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力
6週 /	・前回のおさらい ・集積の論理について学ぶ(1.立地論の基本:ウェーバー、ホテルングの立地論)	・講義 ・RCへの記入	ウェーバーの立地論のポイントは何か、またホテルングの立地論のポイントは何か、を示すことができる。	【予習】今回の内容について『講義レジュメ』で確認する。 【復習】『重点課題』を用い、今回の学習内容に該当する質問に回答する。	90 90	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力
7週 /	・前回のおさらい ・集積の論理について学ぶ(2.工業集積、商業集積)	・講義 ・RCへの記入	産地型集積にはどのようなタイプがあるか、中心地理論の概要、を示すことができる。	【予習】今回の内容について『講義レジュメ』で確認する。 【復習】『重点課題』を用い、今回の学習内容に該当する質問に回答する。	90 90	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力
8週 /	・前回のおさらい ・都市化の論理について学ぶ(1.都市化)	・講義 ・RCへの記入	都市化の2つの具体的な現象を示すことができる。	【予習】今回の内容について『講義レジュメ』で確認する。 【復習】『重点課題』を用い、今回の学習内容に該当する質問に回答する。	90 90	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力

回数	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	・前回のおさらい ・都市化の論理について学ぶ (2.土地利用構造、中心地への集中、郊外への外延的拡張)	・講義 ・RCへの記入	チューネン(アーバン)・リングの意味を説明できる。	【予習】今回の内容について『講義レジュメ』で確認する。 【復習】『重点課題』を用い、今回の学習内容に該当する質問に回答する。	90 90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
10週 /	・前回のおさらい ・都市化のサイクル(都市化、逆都市化)について学ぶ	・講義 ・RCへの記入	ドーナツ現象、スラム化、ストロー現象などについて、説明できる。	【予習】今回の内容について『講義レジュメ』で確認する。 【復習】『重点課題』を用い、今回の学習内容に該当する質問に回答する。	90 90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
11週 /	・前回のおさらい ・地域における累積的因果関係モデルについて学ぶ	・講義 ・RCへの記入	地域問題の具体的な現象を列挙することができる。	【予習】今回の内容について『講義レジュメ』で確認する。 【復習】『重点課題』を用い、今回の学習内容に該当する質問に回答する。	90 90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
12週 /	・前回のおさらい ・日本の地方財政の現実(歳入・歳出構造、国家財政との関係)について学ぶ	・講義 ・RCへの記入	地方財政の現状を知っている。	【予習】今回の内容について『講義レジュメ』で確認する。 【復習】『重点課題』を用い、今回の学習内容に該当する質問に回答する。	90 90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
13週 /	・前回のおさらい ・中央からの地域利用計画(日本における全国総合開発計画)について学ぶ	・講義 ・RCへの記入	これまでの日本の国土計画の考え方、ポイントを列挙できる。	【予習】今回の内容について『講義レジュメ』で確認する。 【復習】『重点課題』を用い、今回の学習内容に該当する質問に回答する。	90 90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
14週 /	・前回のおさらい ・地域経済活性化(内発的発展の考え方、地域経済活性化への応用)について学ぶ	・講義 ・RCへの記入	内発的発展の重要ポイントを示すことができる。	【予習】今回の内容について『講義レジュメ』で確認する。 【復習】『重点課題』を用い、今回の学習内容に該当する質問に回答する。	90 90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
15週 /	『重点課題』を利用した全体のおさらい	・質疑応答 ・RCへの記入	講義内容全体のストーリーを示すことができる。	【予習】『重点課題』に対応した全回答についての疑問点を整理する。 【復習】『重点課題』の内容、回答を利用して、疑問点を解消する。	255	主体性 働きかけ力 実行力 計画力

能力名：①主体性 ②働きかけ力 ③実行力 ④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力 ⑦発信力 ⑧傾聴力
⑨柔軟性 ⑩情況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力